

# 昭和59年度 和歌山県名匠

しゃ み せん せい さく  
【三味線制作】  
み さき たかし  
御 前 隆

【現住所】和歌山市  
【生 年】明治41年

## 職 歴

15才の頃より和歌山の檀上楽器店及び大阪で和楽器の製作技術を学ぶ。

昭和7年に独立し、以来50余年間一貫して和楽器の製作、販売並びに後継者の育成につとめる。

## 業績の概要

60才頃までは各種の和楽器の製作を手がけていたが、その後三味線製作の各種の工程のうち、最終工程である皮張りから組立て、調律に取り組んでいる。

皮張りには、皮の選定から張り糸まで10種に余る工程があるが、良い音を出すための最も重要な工程として、皮を胴に引張りながら固定する作業があり、力加減が微妙なこれらの技術は、長い経験を通じて体得する他はないものである。

氏は良い音を極限まで探究し、自分が納得する作品の製作販売に徹しており、数少ない伝統技術の保存につとめている。